

【つくば市持続可能都市戦略室 × 竹園高校 クロスカリキュラム授業】

1月25日（月曜日）、1年生全員による総合的な探究の時間「探Q基礎」において、つくば市政策イノベーション部持続可能都市戦略室の小松愛実さんを講師に、「竹園高校生が考える『SDG s 未来都市つくば』のまちづくり」というテーマのもと、リモートでの特別授業を実施しました。

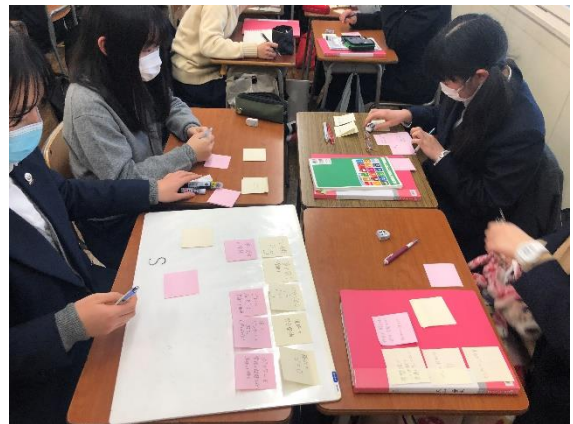
「SDG s 未来都市」に選定されたつくば市の取組をもとに、「持続可能なまち・つくば」に向けた市政について考えることで、地域社会やグローバル社会が直面する諸問題をよく考え、課題解決に主体的に取り組む姿勢を育むことをねらいとしています。

講師の方からつくば市の現状や具体的な実践例を説明していただいた後、生徒は「10年後には当たり前になってほしいこと」を挙げ、その実現に向けて「高校生ができること」を考えて話し合うグループワークを行いました。

生徒からは、「今回の授業を通して、つくば市でも『誰一人取り残さない』ための具体的な取組が行われていることを知りました。こども食堂やきずな Box の存在を初めて知ったので、自分も周りの人に教えて浸透させたいと思います。」「今回の授業で、理想のつくば市について考えることが、とても意義のある時間だと思いました。“自分たちには”何がどこまでできるのかと考えた際、できることは結構あるのだと気がつきました。これから少しずつ行動に移していきたいと思います。」などの感想がありました。



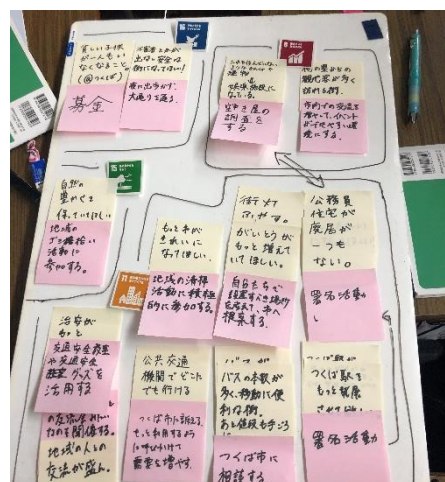
リモート授業でSDGs未来都市つくばの概要を学ぶ



10年後の「理想のつくば市」を考える



私たち高校生ができることをグループで考える



つくば市の課題をSDGsのゴールに相関させる